



ふれあい 放水路

1996
(平成8年)
第27号
6月



長浜神社

『出雲国風土記』の「国引き神話」

で、国引きに用いられた綱（藁の長浜）の上に祀られ、その主人公、八束水臣津野命を祭神とする神社が長浜神社です。出雲市西園町の妙見山の一角にあり、すぐ近くを神戸川が流れています。

神社へ続く長い石段は木々に囲まれ、梅雨のこの時期は、雨で緑色が鮮やかさを増しています。しっとり濡れた石段を登って行くのはまた風情があります。

登りつめると、それまでの趣とは対照的に、真新しい拝殿が飛び込んできます。これは、まだ記憶に新しい平成三年の台風十九号で甚大な被害を受け、再建されたということです。

「国引き」の神様のお膝元で、今度は斐伊川からの「水引き」を行うこととなります。大事業を成し遂げた神は平成の大事業をどう見ていらっしゃるのでしょうか。

現在、工事はここまで進んでいます

平成7年度までの放水路工事の進捗状況

新内藤川水門



平成7年度から新内藤川水門の施工に着手しています。現在、新内藤川と千頭川の付替が完了しています。

平成6年度から本格的に始まった斐伊川放水路事業は、地域の皆様のご協力により、ほぼ予定どおり順調に進んでいます。今回は、平成7年度までに完成した工事箇所の報告をします。

B谷工事用道路



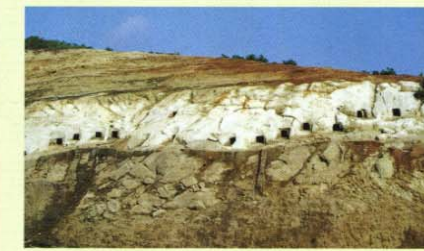
この工事用道路は、放水路の掘削で発生する残土を残土処理場に運ぶための専用道路です。将来は市道として利用される予定です。

古志橋



平成7年度から工事を着手し、下部工の一部が完成しています。現在の古志橋の右岸側(塩治町側)に見える大きな壁のようなものが新しい橋脚です。

埋蔵文化財発掘調査



放水路事業予定地内には数多くの埋蔵文化財があります。発掘調査は、島根県教育委員会などに委託して調査を実施しています。主な出土品としては、土器や横穴墓から出土した金米(金の糸)、金環(金の輪)などがあります。なお、今年度からは出雲市教育委員会へも委託して調査を実施します。

崎屋橋



平成7年度から工事を着手しています。現在、下部工の一部が完成しています。

神門塚橋



放水路事業が始まって最初に完成した橋です。高欄には「稲穂」をデザインし、小さいながら洒落た橋になっています。

馬木地区の堤防と付替道路



馬木地区は町ごとかさ上げを行うことにより、洪水に対して非常に強い町になりました。また、この地区は出雲市の景観形成地区の指定を受けており、美しい町並みとなっています。

堤脚水路と小段道路



堤脚水路の施工と、放水路事業によって機能を失う道路の付替を行っています。

軟弱地盤対策



堤防を造ることにより周辺の地盤が沈下しないようにするための軟弱地盤対策を行っています。

凡例

水	路	
道	路	
(小段道路、工事用道路など)		
軟弱地盤対策		
築堤		
構築物		
(橋梁、ボックスカルバートなど)		



ふれあい
放水路

通信

埋蔵文化調査現場の

見学会

五月二十五日、五月晴れの空の下、六十三名の一般の方々に参加していただき、斐伊川放水路予定地の埋蔵文化財調査現場の見学会を行いました。

これまでに「ふれあい放水路」でも紹介した上塩冶横穴墓群や三田谷Ⅰ遺跡、それに古志本郷遺跡の調査現場や、そこからの出土品を見学しました。埋蔵文化財調査センターの方の説明を受け、遺跡の状況や調査の様子などが分かっていただけただけではないかと思えます。

また、今回の見学会では、参加者の方に遺跡発掘の体験もしていただきました。皆さんが「何か出てこないかな」と慎重に土を掘り返す姿は真剣そのもの。果たして、歴史を変えるような大発見があったでしょうか？



▲出土品を見学



▲三田谷Ⅰ遺跡で発掘調査を体験

訂正とお詫び

本紙5月号(第26号)の表紙記事で、半分城の主郭位置について誤解を与える表現となっていました。「主郭のあった場所」を「主郭のあった丘陵の先端部分」と訂正し、お詫び申し上げます。

■「懐しいあの頃」

昔の神戸川の写真をお送りください。なお、写真を提供していただいた方には、お返しの際に引き伸ばしパネルを差し上げます。



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所

〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当

出水期に備えて

五月二十日、平田市西代町の斐伊川左岸で、事務所内の水防講習会を行いました。出水期を前に、水防工法の認識と水防への意識向上を目的に開いたもので、縄の結び方や土のう作りなどの準備工法や、木流し、積土のうなどの水防工法を実施しました。

縄の結び方一つにしても、その場に應じたいいろいろなやり方があります。万が一出水した時は、状況を適切に判断し、対応しなければなりません。出水期に備え、水防工法の重要性を再認識しました。



▲木流し

7/1▶31 河川愛護月間
水辺にやすらぎ 心にゆとり